

平成 29 年 10 月 20 日 (金)

大地震想定での避難訓練及び園児引き渡し訓練を行いました。



午前 11 時 10 分、けたましい非常ベルとともに「大きな大きな地震が発生しました。お友だちは落ち着いて、安全な場所に避難しましょう！」の放送を合図に、子どもたちは一斉にテーブルや椅子の下、ロッカーの中に入り、指示があるまでじっと身を守る体勢を取りました。緊張感の中、揺れがおさまるのを待ち、放送と担任教師の指示で全員すばやく園庭に集合しました。園長先生や担当のみか先生の話を聞き、避難の際の約束などを確認しました。また、テントの下で、みんなで非常食を食べました。

今回は、雨という悪天候の中で行う避難訓練となりました。教師にとっても子どもたちにとっても初めての条件の下で行うため、不安な面もありましたが、隣接の大分保育専門学校の学生さんや先生方の協力を得たことや、保護者の方へ一斉メールを配信して園児の引き渡しを行うことで無事訓練を実施することができました。昨年 4 月の熊本・大分大地震、今年 7 月の九州北部豪雨など、自然災害が頻繁に起こり、日頃から防災への備えや訓練の重要性が増す中、今回の訓練を通して、多くの課題や反省点があがりました。これらを生かし、今後も年に一度、園児引き渡しを含めた大規模な訓練を実施していきたいと思ひます。

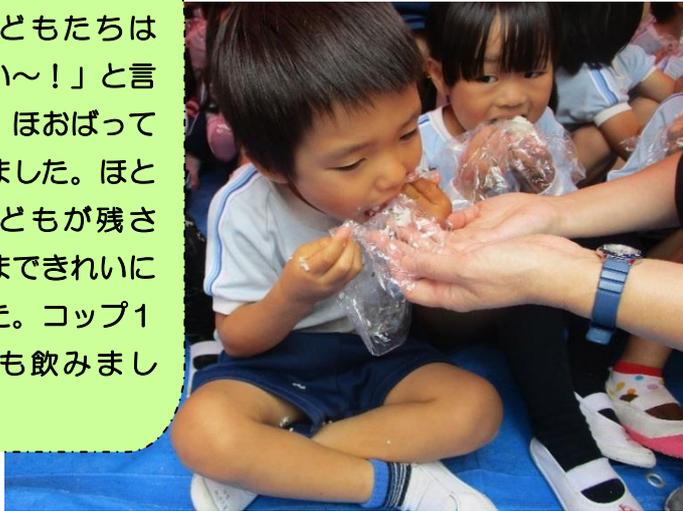




非常食

アルファ化米を鍋に移し入れ熱湯で戻すことを3度繰り返し、園児・職員分の約300個のおにぎりを作りました。衛生面に留意し全てラップで包んでいます。

大きめのサイズのおにぎりを子どもたちは「おいしい〜!」と言いながら、ほおばって食べていました。ほとんどの子どもが残さず、最後まできれいに食べました。コップ1杯のお水も飲みました。



少し緊張した表情で、保護者の方のお迎えを待つ子どもたち。

「緊急時連絡・引き渡しカード」を一人ひとり確認しながら、子どもたちを全員無事に、保護者の方に引き渡ししました。



大分保育専門学校の学生さん、先生方ご協力ありがとうございました。

